

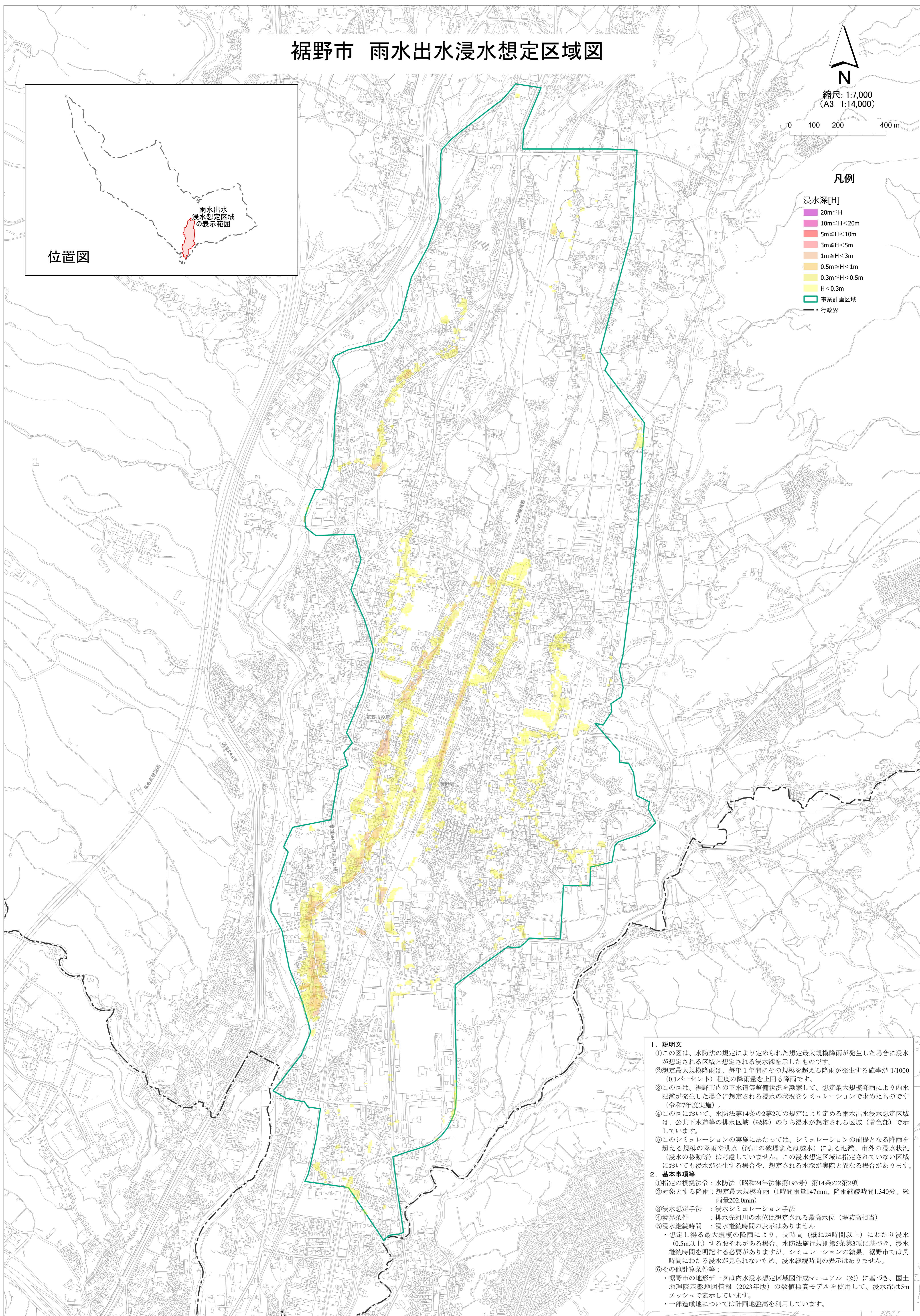
# 裾野市 雨水出水浸水想定区域図

縮尺: 1:7,000  
(A3 1:14,000)



## 凡例

- 浸水深[H]
- 20m ≧ H
  - 10m ≧ H < 20m
  - 5m ≧ H < 10m
  - 3m ≧ H < 5m
  - 1m ≧ H < 3m
  - 0.5m ≧ H < 1m
  - 0.3m ≧ H < 0.5m
  - H < 0.3m
- 事業計画区域  
— 行政界



**1. 説明文**

①この図は、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨が発生した場合に浸水が想定される区域と想定される浸水深を示したものです。

②想定最大規模降雨は、毎年1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/1000(0.1パーセント)程度の降雨量を上回る降雨です。

③この図は、裾野市内の下水道等整備状況を勘案して、想定最大規模降雨により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションで求めたものです(令和7年度実施)。

④この図において、水防法第14条の2第2項の規定により定める雨水出水浸水想定区域は、公共下水道等の排水区域(緑枠)のうち浸水が想定される区域(着色部)で示しています。

⑤このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨や洪水(河川の破堤または越水)による氾濫、市外の浸水状況(浸水の移動等)は考慮していません。この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

**2. 基本事項等**

①指定の根拠法令：水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項

②対象とする降雨：想定最大規模降雨(1時間雨量147mm、降雨継続時間1,340分、総雨量202.0mm)

③浸水想定手法：浸水シミュレーション手法

④境界条件：排水先河川の水位は想定される最高水位(堤防高相当)

⑤浸水継続時間：浸水継続時間の表示はありません

・想定し得る最大規模の降雨により、長時間(概ね24時間以上)にわたり浸水(0.5m以上)するおそれがある場合、水防法施行規則第5条第3項に基づき、浸水継続時間を明記する必要があるますが、シミュレーションの結果、裾野市では長時間にわたる浸水が見られないため、浸水継続時間の表示はありません。

⑥その他計算条件等：

・裾野市の地形データは内水浸水想定区域図作成マニュアル(案)に基づき、国土地理院基盤地図情報(2023年版)の数値標高モデルを使用して、浸水深は5mメッシュで表示しています。

・一部造成地については計画地盤高を利用しています。